

紫波一中1学年 紫波町の歴史を学ぶ 樋爪館とはどんなところ

紫波一中1学年(207人)は、総合的な学習「紫波町の歴史を学ぶ」をテーマとしたフェールドワークが去る9月28日に実施された。

当日は生徒自らが決めた取組み別に11コースが計画され、樋爪館関連のフェールドワークには生徒23名と担当教諭1名が訪れ、樋爪館懇話会の遺跡案内人が対応した。

樋爪館関連コースは、まず、樋爪館跡にある五郎沼薬師神社隣の箱清水公民館ホールにおいて、平泉との係わりや樋爪館・五郎沼等について事前学習を行い、そこから二組に分かれて現地に行き、奥州平泉藤原氏の伝承や五郎沼古代ハス、山吹川の砂金、周辺石碑の謂われや伝説等を遺跡案内人二人が持ち場を分担して講話した。

現地における説明後、箱清水公民館に戻り、樋爪館や五郎沼等に係わる全体的な質問を受け、遺跡案内人から具体的な説明により理解を深められた。

生徒からは、高度で専門的な質問があり、遺跡案内人は分かり易く丁寧に応答した。質問の例として、①樋爪館がどのくらい栄えていたのか。規模を知りたいです。②奥州合戦後の樋爪太郎俊衡の生活はどのようなものだったのですか。③五郎沼経塚跡はどのような場所ですか。④樋爪館の名前と漢字の由来を教えてください。⑤樋爪太郎俊衡は、なぜ藤原泰衡の首桶にハスの種を入れたのですか。その他にも様々な質問があった。

なお、総合的な学習のフェールドワークで調べた「紫波町の歴史」についての全体発表会は、11月15日に紫波一中体育館で開催された。



当日の事前学習において説明、難しかったかな？

五郎沼において熱心に説明を聞く生徒たち

《《《12月～R5年1月行事予定のお知らせ》》》

12月 4日 (日曜日)	第28回 定期講演会	午後1時30分～午後3時30分 赤石公民館 講堂 演題 「比爪と海のつながり」 講師 羽柴直人氏 平泉世界遺産ガイドダンスセンター 上席専門学芸員、博士(文学)
令和5年 1月 18日 (水曜日)	第136回 月例発表会	午後7時～午後9時 赤石公民館 講義室 発表者 宮 良 男 テーマ「日本の仏教⑱ 臨濟宗」 発表者 平井 和 夫 テーマ「吾妻鏡に見る北条義時④」

11月16日に開催した第135回月例発表会において、発表者が用いました資料から一部分を抜粋して掲載しましたのでご了承願います。

石幡信氏の「十三湊遺跡と亀ヶ岡遺跡」の研修報告

《スライド上映の一部》

【右上】山王坊日吉神社
合掌形の破風を鳥居の上につけた山王造りの大変珍しい二重鳥居。

【左上】福島城跡

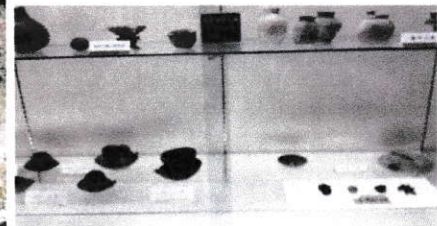
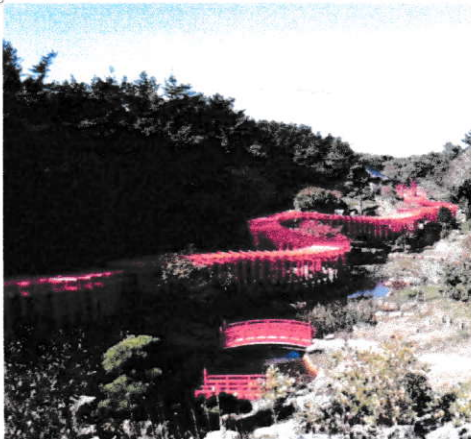
福島城跡の地形測量図と遺構配置図の説明板前での安藤の郷ガイド。

【右下】つがる市縄文館

この中にある木造亀ヶ岡考古資料室には遺跡からの出土品等展示。

【左下】

高山稲荷神社千本鳥居
高さ約2メートルの朱色の鳥居が延々と並んでいる光景は圧巻。



平井和夫氏の「吾妻鏡にみる北条義時」の追加として

1. 吾妻鏡について 評価

現代語訳 吾妻鏡 五味文彦・本郷：編 吉川弘文館

●現代語訳 吾妻鏡 第1巻 P6～ より抜粋

『吾妻鏡』とその特徴

度重なる合戦の記事や幕府の御所でのエピソードは、武士たちがいかに行動してきたかを雄弁に伝えている。特に源平合戦や義経の動きについて詳しく記し、続く奥州の藤原氏との合戦についても詳しい。これは幕府が武士の集合体であることからして、この点への関心の強さに基づくものだが、これらの記事は合戦の記録を記した右筆（ゆうひつ）や軍（いくさ）奉行の記録・報告、合戦に従軍した武士たちが軍忠を求めの訴えやそこからの聞き取りなどに基づくものと考えられ、信頼度は比較的高いのである。

なかでも頼朝が奥州の平泉に進駐した時の記事は、奥州藤原氏を考えるうえで基本となる史料となっている。

2. 実朝暗殺

『現代語訳 吾妻鏡』 【資料集第9号・現代語訳吾妻鏡8巻P72より抜粋引用】
承久元年（1219）正月二十七日 源実朝暗殺

将軍家（源実朝）が右大臣の拝賀のため、鶴岡八幡宮に参られた。・・・（略）・・・
（鶴岡八幡）宮寺の桜門に（実朝が）入られた時、右京兆（北条義時）は急に心神が乱れ、（実朝の）御剣役を仲章朝臣に譲って退出され、（鶴岡の）神宮寺で正気に戻られた後、小町の後邸宅に帰られた。

（実朝が）退出されたところ、鶴岡八幡宮別当の阿闍梨公暁が石段の近くに隙を見て近寄り剣を取って丞相〔じょうしょう：大臣野の異称〕（実朝）を殺害した。